



ループ、トウバク・アマル革命運動(MRTA)の動きはほぼ掌握された。MRTAメンバーが、昼間は警戒を解き、夜は強めることも筒抜けになっていった。

昨年暮れに公邸内に入ったTBSのカメラマンが残したもののなど、いくつもの無線機があったことも、MRTAは知らなかった。たびたび公邸に向かつて大音量で流された



日系農業者団体協議会の第三回生産物品評会が、先

月十八日から二〇日まで、ウルキーサのコロナ・ラプラタ・クラブ会館で行われた。

この品評会は、最初がカステラルにあるJICA総合園芸試験場、二回目はブエノスアイレス市内の在日日本人会会館、今回は生産地であるウルキーサに会場を移したわけだが、同業者の関心をよび、また、北部からも南部の業者も花弁園視察かたがた、貸し切りバスで駆けつけるなど、業者間の交流効果も生まれ日農協の活動も軌道に乗った様子が見えた。もちろん生産者はいま、体質改善のほか、生産物をどのようにお客さんにアピールするか、販売面の開拓も背負わされており、直

された。「おかしいことを言うな」と思ったが、言われた通り二階の部屋に戻った。突然、爆弾の破裂音がして部隊の突入が始まった。

ニッコウ・クリエティ・ブ・サービス社長の杉丸政則さん(五〇)ら日本人入賞がいた二階の部屋にも、突入の十分前、いつもは顔を出さないペルー人の軍関係者らしい入賞が顔を出した。「予行演

ばかり。次のように印象を述べていた。

「花つくりの現場を見たが、いろいろ工夫しているのがよく見えた。液肥を薄めるのに消火器のケースを利用したり、地下水を汲みあげ、自動給水に中古のボイラーを使ったり奇想天外の工夫。日本だったら今は全部新品。昔

ルー代表部次席代表が「理由不明」のまま、国外退去を命じられた。

外務省の現地対策本部長が十日、交代して難任することが決まった際、対策本部長は「あと二週間。みんなも一緒に日本に帰れるよ」と話した。橋本首相も十一日、「入賞の精神的な苦痛を考えるとあと二週間ぐらいが限度だ」と関係者に伝えた。首相

は、病気が発生しやすい。だから、ア国で開発するものが一番いい」「ア国に適したものを現地の人が捜し出すこと。自己採種をきつかけにして、段階的にすすんでいくこと」「独自の開発をしていかないと、世界的に(植物新品種保護のための国際条約ができた)時代がそういう方向へ流れていく」「ア国では、日常管理の難しいものは日系人が手がけ、球根ものなど植えれば花が咲くもの、オランダなどから輸入するものは、ラテン系が作っている。細かい手入れが必要な高級ものは日系人、資本を入れて大量に作るものはラテン系というように住み分けができていく」「リシアントゥスは(商品だから)大事にしないと、下火になる恐れがある。本来、深い根の花で、一週間に一回も花もちがするから評判がいいのに、最近、二、三日でしぼんでし

入して入賞を解放した作戦は非常に困難なものだったが、テロリスト側の一時のすきを突き、最小限の犠牲で成功した。リマでの作戦はこれに類似している。

イスラエル人が巻き込まれる乗っ取りや入賞事件が最近なくなってきたのは、テロへのこうした強硬方針が抑止効果をもたらしたもので、長期的には「交渉せず」の姿勢が

接お客さんを目的にした品評会も、内容の充実を待って、次の段階で取りあげられていくだろう。

お客さんへのアピールといえは、カスミ草など、最初は売れない時代があったとかで、それがフロリダ街で売りに出たり、テレビのニュース解説者の後に飾ったのが視聴

者の中にベルーの軍・警察関係者が約二十人おり、それらの人間だけが知っている合同もあった。

合同の音楽も、入賞の軍人に家族が出した手紙で、暗号を使って知らせた。

陸上自衛隊から出向中だっ

た方が、最後の詰めというか、つまりお化粧の仕方です。本だったら値段が違ってきますよ。市場の構造がそうなんです。というか、キチンとした物を高く評価してくれる。ポインセンチア、セントポリア、ポイトゥスなど選色なもの」。

あと、安井公一番査委員長も話に加わり、いろんな意見が聞けた。

「バラ、クラベル、シクラメンも良い。トップクラスは世界レベルだが、それは一握りの人たちで、全体的な底揚げが望ましい」「菊は品種自体が老化している。日本ではお客さんの求めに応じて新品種が作られているが、日本のゆるやかな気候に合ったもので、夏の夜は涼しく、また暖房をきかせた中で育てられて

さらには野菜を審査した仲間マルティン農業者は「品評会の良さは、誰が何を、どのように作っているかが比較できること。暑くて雨の少ない、栽培の難しい夏にも拘わらず、幾つもの品種が入賞した人がいた。彼の場合、後継者の息子を日本へ研修に出した効果が、今出てきているのではないだろうか」と指摘していた。

……というわけで、一年を通して日頃花つくり、野菜つくり、果樹をやっている人とつき合っているのが、その人たちが答えを出すのがこの品評会。シロウトなりにその道筋をたどることができて楽しかった。

品評会、あれこれ

者の目に止まり、それから、売れはじめた。トルコキキョウ(リシアントゥス)も同じ道をたどった。売り出すためのキャンペーン(組織的な宣伝活動)の大切さを示す例である。

品評会の鉢物部門の審査に当たった有隣健一JICA派遣専門家は鹿児島大学名誉教授で、二月二〇日に来アした

など自分で作り、修理など当り前だったが、そういう日本が置き忘れた雰囲気、アルゼンチンにある。今日品評会に訪れた皆さんの顔にも、その面魂(つらだましい)が見えた。生産物の品質はまずまず。扱い方が手荒で、スライバーでやっているような、放り出している感じ。それから、もう少し葉っぱを整理し

「ア国では、日常管理の難しいものは日系人が手がけ、球根ものなど植えれば花が咲くもの、オランダなどから輸入するものは、ラテン系が作っている。細かい手入れが必要な高級ものは日系人、資本を入れて大量に作るものはラテン系というように住み分けができていく」「リシアントゥスは(商品だから)大事にしないと、下火になる恐れがある。本来、深い根の花で、一週間に一回も花もちがするから評判がいいのに、最近、二、三日でしぼんでし

は、病気が発生しやすい。だから、ア国で開発するものが一番いい」「ア国に適したものを現地の人が捜し出すこと。自己採種をきつかけにして、段階的にすすんでいくこと」「独自の開発をしていかないと、世界的に(植物新品種保護のための国際条約ができた)時代がそういう方向へ流れていく」「ア国では、日常管理の難しいものは日系人が手がけ、球根ものなど植えれば花が咲くもの、オランダなどから輸入するものは、ラテン系が作っている。細かい手入れが必要な高級ものは日系人、資本を入れて大量に作るものはラテン系というように住み分けができていく」「リシアントゥスは(商品だから)大事にしないと、下火になる恐れがある。本来、深い根の花で、一週間に一回も花もちがするから評判がいいのに、最近、二、三日でしぼんでし

さらには野菜を審査した仲間マルティン農業者は「品評会の良さは、誰が何を、どのように作っているかが比較できること。暑くて雨の少ない、栽培の難しい夏にも拘わらず、幾つもの品種が入賞した人がいた。彼の場合、後継者の息子を日本へ研修に出した効果が、今出てきているのではないだろうか」と指摘していた。

……というわけで、一年を通して日頃花つくり、野菜つくり、果樹をやっている人とつき合っているのが、その人たちが答えを出すのがこの品評会。シロウトなりにその道筋をたどることができて楽しかった。

(断)

4月18,19,20日と三日間に渡って、コロニア・ラプラタ会館で第3回国芸生産物品評会が開かれました。出品数は、切り花36点（参考出品12点）、鉢花72点（参考出品12点）野菜76点（参考出品17点）、果樹34点（参考出品15点）で、総出品数は218点、参考出品は56点でした。尚今回は、10点以上同一品種の集まったものは、一つの独立部門として扱うことにしたので、それによりバラ12点、鉢物菊11点、鉢物シクラメン14点、レタス（野菜）11点、リンゴ（果樹）10点、ナシ（果樹）10点の以上が独立した部門になり合計13部門に別れて審査が行われました。

今回も、各部門それぞれに高品質な物が出品され、審査員達が苦勞をしてたようです。特に今回は、果樹の出品が充実し、普段はなかなか買うことができない、日本産の果物が数多く出品され多くの人の目を引いていたようです。

又、今回より審査員達による奨励賞が設けられました。この賞は、全出品物を対象に（参考出品も含む）審査員達が、これからのアルゼンチン農業に新しい風を吹き込む物にたいして送るもので、今回は5点が選ばれ、そのうちの沼田てるお氏の薬剤処理したキウイが特別奨励賞を授賞しました。

最終日の20日授賞式が、浅野領事、遊佐園芸試験場長、審査委員長の安井先生、2月にアルゼンチンに育種の専門家として来られ、今回審査員を務めてくださった、有岡先生出席の元で行われ、（ ）により提供された、100mサランのくじ引きが、全出品者似たいしてひかれ、日野きみお氏、伊藤たかお氏、 がそれぞれ当りました。

今回は従来と違い、より生産者に、生産地に近いようにとの目的の為、切り花生産の主要地である、コロニア・ラプラタで開催しました。始める前は、あまり人が来ないのではないかという心配も有ったのですが、終わってみると280人。（記帳して下さった人だけなので実際はもっと多い）の人が来られ、しかもその殆どが、このアルゼンチンで農業に携わっている人が来たというのは、この品評会を、行うに当っての目的主旨を達成できたものだと思います。最終日の展示物即売会では、前回同様満員になり、関係者一同嬉しい悲鳴を上げました。展示物は、その殆どを完売することが出来、果樹や野菜に於ては、あっというまに完売し、買えなかったお客様の残念そうな顔が思い出されます。総売上は2,366ペソでした。

品評会の結果は、次ページに掲載しています。授賞された方は、本当におめでとうございます。心よりお喜び申し上げます。

そして、今回品評会を手伝ってくださったラプラタの方々、遠路より出品物を送って下さったコマウェイ農事研究会の方々、本当にありがとうございました。

新聞記者会見は荒牧清彦大使が現在訪日中で不在であるところから山口英一公使と高木島弘文化担当官が発表すると共にアルゼンチン側マスコミよりする質疑応答に当たった。

それによると両陛下は五月三十日、東京を御出発、ルクセンブルグとブラジルを経てアルゼンチンにお着きになる。ルクセンブルグには御一泊、ブラジルには六月一日から八日まで、アルゼンチンには九日から十一日まで御滞在、ロスアンゼルス御経由、十三日東京にお着きになるという御予定である。

アルゼンチンではブラザサン マルティンにおいてサン マルティン将軍像に花環を掲げたあと、オリイボスの官邸においてメナム大統領と御会談になり翌十日、両陛下が皇太子と皇太子妃時代、アルゼンチンを御訪問されたのを記念して在日日系社会が築園したパレルモ日本庭園において行われる在日日系社会の奉迎行事に臨み日系人の歓迎をお受けになる外、夜はアルペール パラーセ ホテルにおいてメナム大統領主催の歓迎晩餐会に御臨席、その他亜細政府の準備する日程をこなされたあと十一日、日本に向かつてブエノスアイレスをあとにされる。

両陛下の御訪亜については既に早くから噂に上がっていたが、ペルーのリマ市で起こったゲリラによる日本大使公邸人質事件などから経過を見るといふ形で決定を控える

米とアジアに置かれておりラ米に対するそれは今回が初めてのことであるところからラ米と日本との関係にとつて歴史的なイベントであり、それだけにアルゼンチン側でも今回の御訪問を画期的な出来事として重視しているが、特に両陛下の御訪亜がアルゼンチンが今迄の停滞から脱け出し(メルクスドル)の形成や経済の自由化を通じて門戸を世界に開放、世界経済の仲間

### 日農協理事會

#### 品評会反省会で積極的な発言 試験場でNNの菊、研究へ

日系農業者団体協議会の五月定期理事會が八日(木)十時四十分より、カステラルのJICA総合園芸試験場で催されたが、主な報告、決議事項は次の通り。

●会務・会計報告 ●全会員一七〇名の名簿配布 ●預立金(四月現在)七、四九八・九四ペソ、六六〇〇ドル ●故鶴岡英一氏遺族より香典返しとして百ペソの寄付。

▼第三回品評会反省會 日本人とア国人の審査員に見方の差があったが、相違は相違として点数でキチンと決めて欲しい ●同じ出品者の上位独占を避けた順位分けがあつたようだ。良い物は良いとする順位づけが望ましい ●出品の確認のコントロールをもっとキチンと ●入賞した花で(萎れて)頭を下げたもの

更に日亜の友好関係を強めるに役立つものと期待される。また両陛下御自身にとつてもアルゼンチンは皇太子・皇太子妃時代、訪れた想い出の地として感慨無量のものがありになるに違いない。

なお、随行員として元副総理にして元外相の河野洋平國會衆議院議員を団長に十九名(荒船清彦駐亜大使含む)が同伴する。

トク様を筆頭に、七十才以上の六十九名の長寿者並びに、結婚後五〇年の十六名を迎えてここに、敬老会と金婚式を催すことが出来ましたこと、私連会員のこの上ない喜びであります」と挨拶、続いて花城会長の音頭で乾盃記念品贈呈が行われた。

▼金婚 比嘉為次、サチコ、山里将祐、ヨシコ、真栄田義亮、ヒロコ、岸本浩、ローサ、仲村実安、ヨシコ、

これはブラジルで二週間にわたって行われるもので、希望者は五月十四日まで、年石郷会長宛申し込むこと。年齢に制限なし。すでに野菜研、ラン研、パラデーロ果樹研より申し込みがあり、他になければこの三グループより指名。会員優先、その次に会員の子供。この研修制度経験者ははぶかれる。

▼ナトリウム耐性の菊の栽培の研究 有陽農業専門家より、「水質検査の結果、深いところの水はナトリウム(NN)が多いのが分かった(ウルキーサ地域は必ずしもそうではないが)。NN濃度の高い土地に耐える栽培法を研究したい。まず、菊の各種の種をたくさん採種して発芽させ、NN濃度を高めた栽培の中で二〇%が生き残る状況をつくり、次の世代に繰りかえしていく。皆さんの協力が欲しい」という要請があり、今まであった研究・連絡グループの再組織することを決めた。

▼先進地農業位制度研修

これはブラジルで二週間にわたって行われるもので、希望者は五月十四日まで、年石郷会長宛申し込むこと。年齢に制限なし。すでに野菜研、ラン研、パラデーロ果樹研より申し込みがあり、他になければこの三グループより指名。会員優先、その次に会員の子供。この研修制度経験者ははぶかれる。

▼定期総会 予定していた臨時総会は、ACTAの準備ができていないので取止め、八月十四日(予定)の定期総会で、定款改正を審議する。

▼その他 ●地方会員をふやすため メンドーサ、ミシオーネス地域へ情報を送る ●JICA試験場の蒸気ボイラー、耕耘機を払い下げるので希望者は申し込むこと。入札で譲渡、グループ優先 ●この日、日農協ニュース第十八号が配布された。来月から、各会員宛に一冊ずつ配布されるので、各グループ代表理事は必ず理事會に出席して欲しいとのこと。

やで風節」で開幕、次のようなプログラムで続けられた。琴合奏、仲尾初子、新崎スレマ、山里マサコ、玉城マリ、アーナ、上間アレハンドラ、カラオケ、仲宗根マリエラ(故文盛氏孫)、沖繩舞踊「谷茶前」「ひやみかち節」大城マユミ、ミワ、ナツエ、ナオミ、タンゴ(踊り) ●与那嶺シンティア、教師フアビアン、アコーデオン伴奏上原リカルド、沖繩舞踊

平成9年6月7日(土曜日)

【らぶらた報知】

№6460[3]

# 国際協力事業団 (下)

## 技術協力事業1、3月までの動向 平成八年度第二回専門家会議の開催

植物ウイルス研究計画プロジェクト・広報活動  
当プロジェクトでは、広報活動の一環として、今までの研究成果及びプロジェクト内容を取組み、広報用パンフレットと同内容のビデオ制作をしていたところ、三月二十一日、その完成に伴い「プロジェクト紹介セミナー」が開催された。

セミナーは、上部機関である国立農林技術院(INTEA)から担当部長及び植物ウイルス研究所(IFFIVE)所長の出席を得た他、招待者及び関係者等約五〇名と多数の出席者の中で盛大に取り行われた。また同時に、インターネットを通じて本プロジェクトの成果及び効果の国際的な普及を目的として、日・英・西語の三カ語の「ホームページ」を開設しており、現在まで四〇〇件以上ものアクセスがある中、米国など海外からの問い合わせもあり、好評を博している。

(開調)ア国経済開発調査(本来レポート)・広報活動  
西国経済公非事業省は、インターネットに「ホームページ」を開設しているところ、昨年六月に終了した第二回第二次経済開発調査(本来レポート2)の調査・分析レポートをその中で紹介し、回国及び内外への大きな普及効果を狙っている。

園芸総合試験場施設整備  
当試験場施設整備四カ年計画の第三年次工事計画は、今期において、農機具収納庫、車両収納庫、堆肥舎および雨水貯水槽を完成し、前期完成分のガラス温室、簡易温室を含めると、当該三年次の施設整備は計画どおり全て終了した。

園芸総合試験場における  
園芸研修の実施

一月三日(月)から二四日(金)までの二週間、園芸総合試験場において「花卉の組織培養」をテーマとした集団研修を実施した。当初二〇名の応募者があり、選考の結果、当初の計画枠を拡大し、日系一〇名と西国人四名の計一四名の受講者を受入れ、好評下に研修を終了した。

当試験場は、国立農林技術院(INTEA)カステラル研究所敷地内への移転に伴い、研修事業が中断されていたが、今般施設整備作業四カ年計画における、当該第三年次工事にも順調に進み研修施設はほぼ完成したこと、また日系農家等からの強い要請もあったことから五年振りに研修事業を再開したものである。  
新規プロジェクト技術協案件「植物遺伝資源計画」

### 投書

#### 提案 ゲートボール自由クラブ結成

新垣 善太郎

ゲートボールは花盛り。不景気風も何のその今、日系社会は梅も杓子もゲートボールに打ち興じている。いと、いつたら笑礼だが、見るもバカなら、するも馬鹿、どうせバカならというイワレもあるではないか。私は真実、これこそ健全な娯楽で、家族揃って楽しめる遊びはないと思っている。

そればかりではない。在亜沖縄県人連合会サマは、そうした楽しい遊びを提供しながら大きな収入源になっている。まさに「ゲートボール、さままま」といったところだ。

私がつね日ころ、「ゲートボール・キチ」と皆さんを評

園芸総合試験場も参画した新規プロジェクト技術協案件「植物遺伝資源計画」は、現在東京本部でその採択可否について検討中であるが、その採択または東京サイドの方針・意向の結果通知の接受を、さらには新規案件実現化のための基礎調査団の派遣等を強く期待している。

一方、本件新規案件にたいする当事務所としての今後の対応の参考に資するため、三月一日から同一四日まで調査団を派遣(団長:遊佐場長・総括、安井 専門家1収束・分析・保存、有隣 専門家1草種、山本フアンカルロス職員1技術協力・業務調整)し、「チリ植物遺伝資源計画」(協力実施期間:1989.1.1-1993.1.2.13、フォロアップ協力:1994.1.1-1996.1.2.31、第三回研修:1994年度から五カ年)を調査すると共に、同計画関係者との意見交換を行った。

# 事件ねつ

## 無実の

警視庁東区署の検事で、川口修司容疑者の川口、小原、崎雅彦容疑者(三十三人)は、先犯の川口は「自分と同僚の実務者」などと供述。疑者は容疑を否認している。

警視庁の調べでは、小原、赤松の三容疑者十八日午前四時半ごろ区南砂四丁目のファミ

た。それを知ってか、か、「ゲートボール」結成に当たって、強硬を仰せつかつたものが、後定款改正が行われれば、その真実がまはるといふことになはる。ほどうように、私は正にインシヤなのである。それではなぜ、そんなしかなかったら、一緒にいいたらう、というところが、そう簡単に聞かないところに、ゲートの功罪がある。

まず自由がきかなだ。五名一組の規定がっている。いったん仲間たら最後、アシが洗われ仕組になっているから人欠けたら、組に迷惑るから自然、無理が生私のような自由気ままには到底、ツイて行は当だ。

また最近、組の仲間へ出稼ぎに行つて欠じ、遊びたいが出来いった人が大分いるとあるいは又、折角楽し

### 日農協理事会

## 8月14日に定期総会 春の品評会、10月2日より

日農協の七月定期理事会が十日(木)午後二時半より、カステラルのIICA総合園芸試験場会議室でひらかれたが、主な報告と決議事項は次の通り。

▼会長報告 ●日農協より要請していた安井公一農薬専門家の任期一年延長が承認された ●先進国(ブラジル)短期研修に東江ネストル(野菜)長内タニエル(花苳)、ミシオネスより一名、合計三名が決定。

▼会計報告 積立金八一三、九三三、六〇〇〇ドル

▼春の品評会 十月二日(木)三日(金)四日(土)

開催に決定。二日午前に出作物持ち込みと準備、午後審査、四日に表彰式を行う。そのほか ●これから生産品は市場性をもつ売れる物、消費者の好みの方向へ行く ●審査員に専門家だけでなく、消費者側(花苳、ビベリス、販売者)からも参加させたい ●消費者側は消費のことを知らず、性質を見ず、見栄えのする形で決めてしまう ●生産物は売れるものであり、販売にタッチする人の見方も必要 ●などの意見が交され、技術的な面も重視しながら、花苳・野菜部門に消費者側の良方を取り入れた「特別賞」を一つを試みとして設ける、ことを決定。さらに ●出品者が固定してきた ●全委員が一品以上の出品が望ましい、という意見があり ●アドエション(審査外参加)を認める ●無名出品を認めるが、入選した場合名前を公表することを決定。

▼試験場の払い下げ機具

トレンチキはバラテロ果樹研に払い下げ、耕運機に三名の希望者があった。

▼定期総会 ●八月十四日カステラル総合園芸試験場に

て十四時より定期総会、定歌改正のための臨時総会を十五時より行う ●理事会推薦リストを決定。

▼その他 ●青種専門家による交配、採種の初歩的段階について講習会を催す ●一九九七年度のアルゼンチン農薬の実態調査のための営農調査アンケート表が各研究会を通じて配布される。これは切り目毎に統計をとり、そのデータは日農協ニュースに掲載される。個人データは協議会事務局だけが保管し、協議会役員を含む一切の他人が閲覧することはない、としている。

なお、この日配られた「日農協ニュース」二〇号には ●パラグアイの野菜生産事情 ●カーネーション特集(3) ●パンジー秋出し栽培 ●さし土壌学講座 ●果樹の犠牲台木特集(5) ●洋梨 ●日本野菜情報 ●パソコン講座 ●六月理事会報告が掲載されている。

### 沖県連主催

## 第二回「カラオケの夕べ」

### 歌で結ぶ親睦賑わう

沖県連主催の「第二回・カラオケの夕べ」が去る十二日(土)午後八時より同沖県連会館大サロンで行われた。当日、生憎の小雨まじりの悪天候であったが、カラオケ愛好者は勿論のこと、この日を親睦の交流という参加者で賑わった。

「カラオケの夕べ」も回を重ねて第二回だが、コンクールと近い肩の凝らないイベントであり、誰もが自分の好みの歌で楽しめることで人気もある。外は肌寒い小雨のバラつきだが、サロンはカラオケムードたっぷりの雰囲気の中で熱演がつついた。こうしたムードの中にJICAの古山文男夫妻も顔を見せ演歌で熱演、カラオケ外交で親睦交流の輪を拡げる役目を果たした。大きな拍手があった。異彩的なところではカラオケスナック「ほほえみ」のママさんも参

加、歌うなどで注目されたが、日頃「マイクを握つたら嫌くない」と定評の新垣晋太郎氏もウイスキーの飲みすぎで出演数が少なかったのが残念の声もあった。カラオケの普通の顔も多く「拍手お願いします」の一発で歌い始める(「夫さん」も熱演カラオケ常連だけの雰囲気をつくつていた。歌も沖縄民謡、演歌と個性的な歌い方も楽しいもの、ムードに包まれたこの「カラオケの夕べ」も益々盛會なものになるだろうとは主催者側の弁。故郷へのノスタルヒアも含める「カラオケの夕べ」も賑やかに夜の更けるのを忘れさせた。カラオケに依つて愛する歌と親睦交流を深めるイベントの次回を楽しみにする人も多かった(外は雨!)とムード演歌が歌い続けられていった。

## 韓国から民俗舞踊団

### 「小さな天使たち」が

### 8月19日と20日にア市公演

米国の故アイゼンハワー大統領をして「天上の天使たち」とも、この小さい天使たちのために色あせてしまった」と驚

嘆させ、旧リ連のゴルバチョフ大統領夫人ライサ女史をして「私の生涯において、このような幻想的な公演は初め

## ラシエル

### 8月に国際

アルゼンチンの女流ラシエル・レベナスの「マンタ」と名付ける大統領文化局の後援、ス・ムニョス駐日アルン大使の招きを受けて七日から十二日まで、渋谷区神宮前にある「アルテ画廊」でひらかれレベナスさんは国際の知られた画家。女性インクを組み合わせたみずみずしく、率直な微笑。一九七八年、ビシヤガール、ミロ、マ

て。少女時代の夢が叶うた」と絶賛させた韓俗舞踊団「THE LITTLE ANGELS」の天使たちが来亜、リエンテス大通り八六ある「シアトロ オペ」において「世界平和婦人後援の下に八月十九日(午後九時)の阿たつて公演する。

「ザ リットワル エルス」は「小さな天使」という名称が示す歳から十五歳までの少女によって構成された韓統的な民俗舞踊団に師田。一九六五年の米開演を皮切りに日本、ユタナ、中南米諸国等々公演は四十ヶ国に及び数はTVショウを加まべ、二千回以上に達り、米国ではアイゼン大統領、日本では皇太兼(現天皇・皇后両陛下)英国ではエリザベス女で特別公演を行っている「ザ リットワル ジエルス」の踊り子で成する芸術学校(現和中等学校)は統一教鮮明師の説く「愛天・愛国」の三愛主義を尊とし「真の美の表現は美しさだけではなく肉

# 世界少年野球大会

## ア国のチツピ子たち、帰国

### 猛暑にめげず善戦

聖国日本野球協会が派遣、東京で開催された二世世界少年野球大会へ参加したチツピ子たちの一行(選手三名、付随員三名)が去る八日、空路無事帰国した。高橋清宏団長の帰国談は次の通り。

二十六チームが参加したトーナメント戦は一日に二試合消化し、一試合は六回(または一時間半)。最初、中国と対戦して一五対〇(三回コールドゲーム)、二回目は江戸川チームと二三対二(三回コールド)でいづれも負けた。大会の結果は①中国②ブラジル③オーストラリアとメキシコ。残りの敗者同志の試合に

は、アルゼンチンは一位にすることができた。茨城で行われた国際親善試合では二試合とも勝ったが、点數差で三試合を逃し、①がみおがわ②韓国③台湾、という成績期。昨年は自分は参加していないので、実際のな比較はできないが、成績面では良かったのではないかな。選手たちは、一名を除いて初めての参加。他の国のチームは基本に忠実、という印象を受けた。ア国は選手層も薄く、単純な練習のくり返しで、この辺は反省すべき点になる。

日本は猛暑で連気がひどく四名が日射病で倒れ、看病を受ける有様だったが、皆よく頑張った。それから、この大

## 蘭研主催の蘭展示会

### 最優秀賞は細川ロベルトに

#### 四五〇〇人が入場の盛況

既報、「ラン研」として洋蘭栽培研究会(斎藤正雄会長)主催の蘭展示会が去る八日から十日にかけてパレルモ日本庭園茶室において開催された。この三日間は晴天に恵まれた上、暖冬が幸いして入場者の数は四五〇〇人に達し、一時は入場を制限しなければならなかった程、押すな、押すなの大賑わいであった。

八日午前は国際協力事業団派遣の安井先生を審査委員長に同じく有蘭先生、日本大使館の福嶋参事官、その他オランダ・シント・ゲルリアの蘭園会役員たちによる厳正なる審査の結果、次の最優秀賞に選ばれた。

最優秀賞 細川ロベルト氏(同)

シント・ゲルリアの蘭園会役員たちによる厳正なる審査の結果、次の最優秀賞に選ばれた。

最優秀賞 細川ロベルト氏(同)

- ▼オンシアニム部門  
ジオン、クリステイ
  - ▼カトリア部門  
華方クスターボイ
  - ▼アンドロビエトム部門  
(桜姫)、伊藤天雄
  - ▼テイスブレネ部門  
ウニオン、ケルベシテイ
  - ▼オルキテイオオワイロ
  - ▼栽培技術部門  
エレナ、ロズレド
- 今回は第二回目でもあり昨年に較べ出品数も倍近く珍種の蘭の花が人目を惹いた。特筆すべきはこの展示会の目標としてエコロシムが願がれてくる時代ということもあって「無国籍原種園の保護育成」をスロコガタに掲げ、スタンボの一角に細川ロベルト氏所有の原種三五〇種を展示したことであった。また岩間アメリカさんの協力でカトリア、フレノブラス等原色押し花の展示も会場を引き立てていた。

№ 6489 (4)

【らぶらた報知】

平成9年8月21日(木曜日)

見直しに着  
力な等々  
定めて年  
度防衛費  
を全面的  
に見直す  
作戦を中  
心に計画  
が日本に  
影響を与  
える年防  
衛力の増  
強のため  
の目的と  
して、周  
辺有る各  
村の自衛  
隊の増強  
が本

国内の野生動物を  
取り扱っている「植物類」  
物七千種のうち、全滅  
して全滅した、全滅  
園土を約四百カ所  
で、後種の保存法による  
下の基礎資料として培  
えては、野生動物を  
「植物類」  
だ。日本植物  
園を主とし、全滅の危機  
に「野生全滅」  
「A」同「B」  
の「全滅危」  
見直しに着



### 日農協理事会

## 10月2日より第4回品評会

### 園芸開発基礎調査団来る

日系農業者団体協議会の九月例会が十一日(木)午後、カステラルのJICA園芸総合試験場でひらかれた。

▼会務・会計報告  
▼役員の変更  
新会長の玉置昭雄氏は「皆様にとって利益になるように、今後とも皆様と考へ、運営して行きたい」と挨拶。

▼第四回品評会について  
☆十月二日(木)午前十時より十二時、出品物受け付け、十四時より審査☆三日(金)十時より十七時、展示☆四日(土)十時より十四時、展示

マスコミ関係者来場場所はINTAカステラル内のJICA園芸総合試験場。

▼プレミオ  
☆領事杯(今回は野菜部門)  
☆JICA試験場長杯(切

花、鉢物、葉菜部門、果・根菜部門、果樹のそれぞれ各部門に)。野菜は葉菜と果・根菜の二部門に二分。果樹は今回出品物が少なければ、全て参考出品となる可能性があり、その場合、JICA杯はなし。

☆特別賞 将来有望な生産物、または技術に対して授与

▼実行委員 委員長 玉置昭雄、副委員長 石郷嘉正、幹事 高橋靖宏、会計 伏見アルベルト。受け付けは○切花 安原ヒロシ、○鉢物 エスコロイサ研究部より一名○野菜 佐々木アレハンドロ、比嘉オスカル○果物 柴平三。

なお、園芸開発基礎調査団(团长、小西国麿)一行が来亞し、九月二〇日(土)、二十一日(日)日系花卉、野菜農家を視察することになって

### クラブラタ日本人会

## 新会長に津留修氏

クラブラタ日本人会では先月二十四日、定期総会をひらき、本年度理事会を構成した。去る十二日、津留修会長、角田雄道幹事、水橋正也会計の三幹部が就任挨拶のため本社を訪れたが、同理事会及び下部組織のメンバーは次の通り。

▼理事会 会長 津留修、副会長 平良エンリケ、幹事 角田雄道、副幹事 川端俊章、会計 水橋正也、副会計 菅原エクトル、文化部長 播磨エドワルド、副文化部長 村上マルセロ、運動部長 高橋レオナルド、副運動部長 西村ロベルト、会館管理部長 播磨エドワルド、副管理部長 高橋レオナルド、監査 佐藤功、坂口公夫、木村博。

▼婦人部 部長 西沢正子、幹事 今西真由美、理事 水橋マリ、坂口さとえ、菅原フアビアーナ、高橋マリアーナ、文野美和子、坪倉エベリナ、市川リリアーナ。

▼青年部 部長 西沢フアン・カルロス、副部長 川端フ

アン・カルロス、幹事 クトル・エドワルド、村アドリアーナ、ス、会計 山崎カルロス、ステパン、副副部長 リーナ、運動部長 セ、ルイス、文化部長 モニカ、ビビアーナ。

▼老人部 部長 森田会 委員長 文野正真、副委員長 西田敬明、会計 和、委員 中島敬紀、孝、加藤達也、平広志、津二、坪倉正広、佐々

西田エドワルド、



津留修氏、新会長に就任。

### 合同トーカー祝賀会

#### 沖県連

## 今年の米寿者は十人

### 庄巻、新垣盛永氏の飛入り

在亜沖縄県人連合会の主催する「合同トーカー」祝賀会が今年も去る十三日夜、沖県連会館ホールで県人多数出席の下に盛大に開催された。

「トーカー」とは沖縄の言葉で「米寿」(八十八歳)を意味、沖県連が毎年、米寿に達した県人を招いて祝う敬老行事で沖県連の重要年中行事の一つとなっているもの。

今年、米寿を迎えた県人は、照屋竜助(与那原)、照屋カメ(与那原)、大城ヨシ(北中城)、与儀キク(北中城)吉田一(大里)、比嘉稲仁(大里)、新垣盛水(中城)権阿ウシ(中城)、山里ハナ(名護)、比嘉政俊(名護)の十名。会場正面に設けられた特別席に就いた米寿の人々の顔つきを見ると、何れ

も八十八歳の高齢とは思えぬ若々しい顔付きの人たちばかり。それもその筈、八十八歳の高齢とあつては矢張り、出席は無理と見え、家族の人たちが代表で出席したことによるもので八十八歳の本人が出席したのは吉田一と新垣盛水の両氏だけ。

祝賀会は沖県連の我那覇陸八幹事の司会の下、我那覇義明会長の開会の挨拶で始まり、大城秀光理事の音頭で乾杯、野村流沖縄古典音楽協会、亜支那と争曲興隆会、亜支那部の共演する「嘉例の演奏」で幕を切って着した。特に敬老の精神の厚い沖縄県人の敬老行事、しかも「トーカー」の祝賀会とあつて、広いホールも満席。用意の御馳走に舌鼓みを打ちながら二十一項目

にわたる多彩なプログラムを楽しんだ。最後にトーカー祝賀会招待者の一人である新垣盛水氏が飛び入りで舞台に上がったが、明々として会場に響きわたる歌声といい、身振りよろしく踊る手足の動きといひどて

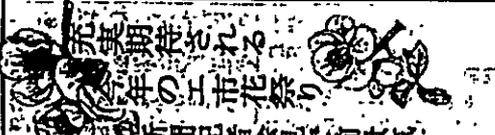
も八十八歳とは思えぬカクシヤク振りて観衆席から何回も拍手喝采が湧き、ブラボーの音が飛んだ。当日の祝賀会を象徴する一圧巻であった。津留修会長の挨拶で、ファイナレは沖縄県人の催しには欠かせない「ウチナシ」に「チエロク」の功を、ヤシ、我那覇会長の舞臺に多数が舞台に上がつて踊り、祝賀会の気分がクライマックスに盛り上がった。ところで幕が又吉垣盛が沖県連調査団の閉会の挨拶で終ったのは十二時を過ぎていた。

### 日本庭園で

はなやかに茶亭サロンの日本庭園で、はアサレ(つつじ)が、まことに春を感嘆し、それに各合わせて毎日、の第五回「アサレ祭り」イイウツラシオンが、十九時すぎより、アサレ祭り、は、立二〇周年のアルゼンチン

No. 6503 (1)

平成9年9月23日(火曜日)



**今年花祭り**  
**新聞記者会見て前景**  
 三ツコマルの花祭り(FIESTA NACIONAL DE LA FLOR)が今年も本月二十六日から十月十二日にかけて開催されるが、民間花祭り協会では先年十二日午後一時から花祭り会場において新聞記者会員を石巻、花祭り行事について詳細な説明を行うと共にマスコミの協力を要請した。

この「花祭り」は、今年初の「CONCURSO DE LARGA VIDA」や花祭りコンクール「EL SELBO DE ORO」を初めをテーマとして、文化行事、記念行事、故郷行事、ファンブルン花祭り実行委員会委員長の垣根ミサキなども用意されており、今年花祭りは、例年に増して多岐なものとすることが予想されている。花の女王コンチエスタ親族のため、三千人を超える大規模な行事を盛り込む「マスコミ」の広報活動を各

「花祭り」は、例年に増して多岐なものとすることが予想されている。花の女王コンチエスタ親族のため、三千人を超える大規模な行事を盛り込む「マスコミ」の広報活動を各

島にするためのフラックス、電話、コンビエーターなど準備は整っている。入場料金は土日が八ペソ、週日が六ペソだが、週日に限り小学生(四年から八年)は一ペソ(年長幼童の日を申請する必要あり)、奨励金持者と中学生は三ペソ、但し観光旅行社の組織する場合は、割引きなしとなっている。開催期間は月曜日から日曜日までが九時から二時まで、金曜日から日曜日までが九時から二時まで、土曜日は九時から三時までとなっている。

「花祭り」は、例年に増して多岐なものとすることが予想されている。花の女王コンチエスタ親族のため、三千人を超える大規模な行事を盛り込む「マスコミ」の広報活動を各

くかっている。久米重良と委員たちの志気を鼓舞し力をあきらめたい。今年も公刊紙「大使」まで行かなくとも、せめて公刊紙「大使」のナ

**国際協力事業団**  
**日系研修集団コース(上)**  
**日本語修得部門**

国際協力事業団日系研修コースは、無国籍コースと特別コースの二つがあるが、この特別コースと一般研修研修コースが発表された。

▼日本語教師養成コース  
 これは日本人に対する日本語普及のため、現職日本語教育者として外国語としての日本語教育を基礎から学習させ、イリヤル教師を養成するの目的で、応募資格は現在日本語教育に従事し、かつ研修終了後は日本語教師として引き継ぎ活動する意志のあること、及び現職高等専修学校卒業者、或いはそれと同等以上の学力の者を主であることとなっている。その内容種別は次の如くである。

①基礎コース  
 日本語能力試験三級程度を対象に、日本語教授法の初歩を習得させる。研修期間は海外日本人協会、応募資格は日本語教師実務経験一年程度と日本到着予定日に二〇歳以上五歳以下であること。研修期間

**日系農業者団体協議会**  
**10月3日より品評会**

日系農業者団体協議会の主催で、高橋靖安幹事、比嘉オスカル会長の新三陸部が就任移移のため十六日、本会を訪問した。

同会では第四回園芸生産物品評会を、IICA・INTA・カステラル・園芸総合試験場(LAS CABANAS Y LOS RESERO S.VILLA UDAON DA)で催す。

この品評会では、精進の整備が終了した試験場の紹介も兼ねて行われる。内外の園芸者、多くに珍しい野菜類、果菜類の出品に期待して特別賞を授けられている。

**聖国相撲選手権大会**

**大使杯、ホセ・マトスに**

**パレルモ日本庭園の土儀で**

「大使杯」は、本年日本大使杯争奪聖国相撲選手権大会が去る九月十四日午後一時半から聖国相撲協会主催の下にパレルモ日本庭園で行われた。この大会での優勝者が毎年、東京で開催される世界選手権相撲選手権大会に出場候補となることは、前回は少し風はあつたものの、晴れ渡った小春日和(コハルゼヨリ)。「春の日」をあと、二週間後に控えて日本庭園は色とりどりのつづじ満開。折しも五日文化財園による「つづじ祭り」が行われている時とあって、庭園は空前の人出。従って相撲大会の開催も多くの大会が前日であったことは相撲プロモーション大会は、重賞別と無賞別と

チームの三つに分けて行われ、日本大使杯はホセ・マトスが獲得。

大会種別は次の通り。

(一)重賞別  
 ▼七五キロまで  
 ①アレハンドロ・ソリア  
 ②アントニス・モレノ  
 ▼八五キロ以上  
 ①リオネル・ボルジャ  
 ②ガリエル・ワキタ  
 ③セバスチャン・チエラ  
 ▼八五キロ以上  
 ①ホセ・マトス  
 ②エルナン・フイオリート  
 ③ホルヘ・チャレシヨ

(二)無賞別  
 ①ホセ・マトス  
 ②ガリエル・ワキタ  
 ③リオネル・ボルジャ  
 ④ガリエル・ワキタ

(三)チーム別  
 ①リオネル・ボルジャの



# 全国の静岡県人集う

## 母県の南米訪問団一行と歓談

### 進士氏に優良移住者賞

静岡県人会主催の母県から、川口久一県議会議長夫妻、大野忠出梢長をはじめとする南米訪問団一行十八名の歓迎会が去る十五日(土)正午より、ケルニカのレストランへラス、ナシオネスでひらかれ、百名をこえる人が参加して賑わった。来賓として浅野徹雄領事や静岡県出身の前田聖児副領事が出席した。

大島宏幹事の司会で先役者への歓待のあと、萩原貞喜会長は一ア国における最初の県人は、一九〇五年に十五才で入国した望月善喜氏。県人は現在二二二家族で二世三世の世代へと移り変わり、今では県立留学生、研修生が母県で勉強研修、日本文化も吸収しています」と挨拶。ついで大野出梢長は病気でア国まで足をのばせなかった石川真延知事のメッセージを「皆様とは

県人会発足以前からのおつき合いで一九五八年、伊豆地方の大木君には養老金をいただいた。海外で日本人として静岡県人として長い年月で苦労、努力され、準備を強めて交流の架け橋となっておられることは高く評価されており、大切な宝の一つ。海外の皆様と富士山を象徴とする美しい心を共通にしていることを誇りとしています」と伝えた。

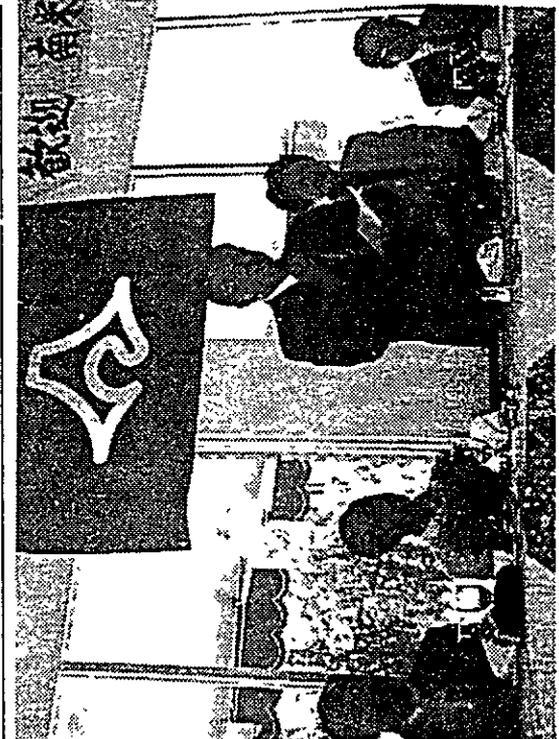
さらに川口県議会議長は「母県の方でも社会的経済的に大きく変化、本格的な高齢化時代に入りましたが、豊峰富士のもと、豊かな活力ある三五〇万県民が、一体となって活躍しています」と挨拶。浅野領事は「四十七都道府県のうち、静岡はアルゼンチンで沖縄、北海道、鹿児島、熊本、広島に次ぎ、九〇年にわたる歴史の中で、着々と県民性を発揮している」としめくくつ

た。このあと、優良移住者として進士エドワード氏、高齢者として安間達三、小久江登美夫両氏へ、それぞれ表彰状が手渡され、また、母県より県人会へ補助金、記念品としてが、県人会より、訪問団一行へ記念品の贈呈があり、川口県議会議長夫人へ花束が贈られた。

そのほか、留学生、研修生代表の鈴木ホセ氏より、「日本体験は、とまどいも数多くありましたが、見るもの一つ

ひとつが勉強になり、多くの人々と知り合い、交流できたことが何よりも大きな財産。広島原爆博物館、富士山の美しさが一番印象的」と謝辞を述べ、竹原太郎初代会長の音頭で乾杯、アサートの昼食会に移り、歓談がつづいた。

緑に囲まれたレストラン。幾つもの円形テーブルに訪問団も分かれて二人加わり、全員がフーネクタイの軽装ということもあって、肩のこらない賑やかな交歓になった。一五〇〇キロのミシオネスから、一人でバスで駆けつけた



挨拶する川口県議会議長  
写真説明

## 日農協理事会

### 11月30日、3篤農家見学

### 12月、各種懇談会

日系農業者団体協議会の十一月定例理事会が十三日、カステラルのJICA試験場で行われた。

主な決定事項は次の通り。  
▼十一月三〇日に、第四回品評会で受賞した、佐藤農園、今西順二農園、畑中アメリオ農園を見学する。三グループに分かれて三農園を回るが、次の通り。①野菜研、ウルキイサ果樹、バラアロー果樹、シクラメン(代表者：高橋靖宏)佐藤園(十時)→今西園(十一時)→畑中園(十二時)②アルサイコ鉢物、西部花卉アルマフエルテ、フロール・デルソール、ロス・アルスール(代表者：志村正敏)今西園(十時)→

畑中園(十一時)→佐藤園(十二時)③北部鉢物、エスコロサ、ラン研、ウルキイサ、バラ(代表者：安原庄)畑中園(十時)→佐藤園(十一時)→今西園(十二時)。見学後、午後二時より、ラブラタ日会が、コロニア、ラブラタ会館でアサード昼食会。参加資格は会員及び家族(タビエルトは各自持参)。肉、エンサラダ、飲物は協議会で用意する。参加申し込みは十一月二十一日までに各研究会の代表を通して電話すること。  
▼九八年度の助成金アルゼンチン農家の実態調査のため、日農協が申請すること決定。

▼森原タニエル農業技師、安井専門家を交えて、第四回品評会の反省会を行う。次回品評会は四月三日・四日・五日にエスコバルで開かれる。コングレイソ(花卉生産者関係の見本市)の一部で開いたらという提案あり、関係者と話し合うことになる。  
▼九八年度の日系社会青年ボランティアの応募なし。現在行っている事務(土壌・水質検査、機関誌作成、品評会事務若鷹調査など)に最低週一〜二日職員が必要なたため、九九年の青年ボラン

ティア要請を決定。  
▼協議会主催懇談会 ●花井関係 ●安藤敏夫先生、十一月二十八日(時間未定)、場所ホセ・セ・バス②アメリカ・ボーギヤル社(ドクトル・アリミス)十二月(時間、場所未定) ●野菜関係 ●エリオ・モリ技師、十二月一日〜八日まで滞在、久場会館にて講義 ●ドクトラ・ルミ・ゴト 十二月八日〜二〇日まで滞在、久場会館にて講義。詳細は協議会事務所に問い合わせること。

No 6563 [4]

【 報 知 だ ら ぶ ち 17 日 (火曜日) 平 成 10 年 2 月 2 日 】

### 日農協理事会

## 品評会4月初旬 エスコボールで 五十嵐 ポランテア青年3月に帰国

日系農業者団体協会の二月例会が十二日(木)午後二時半より、カステラルのINTA内IICA園芸総合試験場で行われた。

玉置昭雄会長を議長にして議事をすすめたが、主な報告、決議事項は次の通り。

▼植物学者、橋本悟郎氏訪亜  
ブラジル在住の植物学者の橋本氏(八十五歳)が三月十六日米亜し二〇日まで滞在、植物採集、植物関係の資料館、研究所など見学するが、日農協では十七日、氏を囲んで懇談会、歓迎会をひらく。なお、ブラジルより植物愛好者が数名同行する。

▼五十嵐一哲ポランテア青年帰国 契約期間を終えて

三月十五日後帰国するが、三月例会(十二日)を利用して、試験場で送別会(アサード)を正年より行う。九八年のポランテア青年が来ないことが確認されたので、改めて九九年の分を申し込むことを決定。なお、今後週一日、事務と土壤、水質分析の手伝いとして、相谷アナ、ラウラさんが働くことになった。

▼品評会 毎年エスコボールで行われる農産生産者全国会議を利用して、四月三日、四日、五日、エスコボール日本人会会館で行う(予定)。マンネリ化を避けるため、賞の対象外として、珍しい生産物の出品も望ましい。その場

### 受験生一七二七人

### 一人残らずの不合格

### ラブラタ医科大学の場合

医科大学の入学試験を受験した一七二七人が一人残らず試験に合格しなかったというアルゼンチン大学の歴史が始まって以来の事件が起り話題となっている。

起つたのはラブラタ国立大学医学部。同大学医学部入学志望の受験生一七二七人が中学課程の知識を調べる試験に一人残らず落ちるといふ、世界記録なら何でも破せる「ギネスブック」に記録してもよい新記録を挙げた。

アルゼンチンの大学制度ではCURSO DE ADMISIBILIDADと呼ばれる学部に入る前の準備課程を履かなければならないことになっている。戦前の日本における旧制大学の予科に相当するものであるが、今回、受験者全員戦死という前代未聞の新記録を挙げたラブラタ大学医学部の試験というの

は、このCURSO DE ADMISIBILIDADを経なくとも済むようにするための試験であったが、不合格となつた結果、全員このコースを履かなければならないようになった。

合格しておれば今年三月から医科大学生として入学できたのであるが、右コースでは物理学、化学、数学を勉強し試験を受けなければならないことになっている。

試験は出題六つの中、四つまで答えなければ合格できないことになっているが、今回の結果では受験生一七二七人中、三つ答えられたのはたった一人、二つ答えたのが二三人残り、一四五四人は全く答えられず白紙答案であつたという。試験時間は三時間だが受験生たちは「試験問題が難し過ぎる」とぼしていた。

合、各グループで相談して、三種類程度に限定して出品。

▼温室用ポリエチレン工場の見学 これはウルグアイにある日系の工場による招待見学旅行(日帰り)。十五名に限定されているもので、各グループの代表理事が参加する。

▼IICAのグループ助成金 九七、九八年度の研究グループ助成金の応募がなかったため、日農協が現在取り組んでいる世帯調査の経費の一部としてIICAへ申請、受諾された。その分として一月十三日、一三四二ペソ受領。

▼JICA短期研修 来年度の応募が締め切れ、次のような決定をみた。佐々木トシ(北部鉢物、花木、柏

木光男(西園花卉・花壇園)、比嘉隆繁(野菜研・野菜)、柴リカルド(バラアテロ果樹・貯蔵)。なお、本年度の伏見アルベルト(ブルサイコ鉢物)、比企アルフレッド(エスコローサ・プランタ)阿氏は三月二十一日に出発する。

▼日農協ニュース 第二十三号が各グループに配布された。★園芸批評★トルコギキョウの最新情報(3)「低温育苗技術」★鉢物生産と経営姿勢(2)★果樹(ブドウの温室栽培)★UN NEGOCIO SERVIDO EN BANDEJA★定期理事会報告、など盛沢山、スペイン語による情報が出ているのが目立った。

### 見えないところで

### 芽を吹く日本語教育

### シユタイナー理念学お先生達

全国日本語学校の先生たち、皆える存在。が全国日本語教育の本山とも目うべき教連主導の下に国会館で休暇を返上、研修に切替逐磨している時、人に知られぬ片隅で、ひっそりとはあるが、強い使命感と理想に燃えて児童の教育問題と取り組んでいる日本語教師グループがある。本紙一月十三日号で紹介した元日亜学院日本語教師の浦崎司子さんが中心になつて月に二回、市内クリローララルテ街三三四番においてエリサリエステルさんを指導者に行っている日系の先生たちがそれ。

これは日本語教育組織がマンモス化するにつれて教育方針が官僚化、画一化、形式化する弊に陥るのに飽き足らない日本語の先生たちが「子供の個性と人格を發展させる教育の必要」を痛感、アントロポソフィーに基礎を置くシユタイナー教育の精神を探り入れた学校を自分たちの手で作りたいと自主的に開いている研修講座で教連による日本語教育を「正統派」と呼ぶならば、これは「造反派」と

シユタイナー教育はドイツのルドルフ シユタイナーによつて創始されたもので単なる語学教育を超えて「成長しつつある人間の本质を認識しようとするならば人間の隠された本性そのものの考察から出発しなければならぬ」というのが、その基本理念。この基本理念を児童の教育に適用しようということで作られたのが所謂「シユタイナー学校」で、この子供の個性開発と伸長を強制によらず自然な形で行つていこうとするメソッドが人々の共感を博して「シユタイナー学校」は本や日本を含む世界全国にもや日本においても見られる。浦崎さんたちグループはこの「シユタイナー」の教育理念にもとづいて日本語教育を行いたいとの趣旨で、先ず幼稚園の設立から始めたいと考えている。

このような考えは現在、世界の日本語教育が国際協力や商団などの強力な支援と協の下に長足の進歩をとけて、劇に子供の日本語の力が

1118 [4]  
No. 6575 [4]

### 日農協理事会

4月3・4・5日に品評会

五十嵐ボランテア青年帰国

日系農業者団体協議会の三月定期理事会在十二日(木)午後二時半から、カステラルのJICAの園芸総合試験場にてひらかれた。

とくに品評会について討議されたが、主な報告、決議事項は次の通り。

●第五回品評会 ●エスコパールで園芸業者、花卉業者の全国大会が行われる時期を利用して、四月三日・四日・五日にエスコパール日本人会々館で行う。出品申し込みは三月十八日まで。出品受け付けは四月三日、九時より十一時まで。審査は(審査員は森重、仲間阿、農業技師へ一任) ●今回の領事杯は鉢物部門へ与えられる ●一・二等賞のほか、出品した会員に参加賞を出す ●五週目の品評会として、審査員へ記念品を贈る ●草花用のパンチハをプラスチック物に統一する。そのほか、とくにシムズ

に当るシクラメンとか新品種、バラ、蘭その他の草花を、コンクールに参加しない形(見本)で揃えることが話しあわれた。終了後は返品する。

▼視察旅行 三月初め、ウルクアイのビニール製造工場を見学したが、これからも短期旅行を企画したい。

▼会計報告 積立金として一、八六ペソと七一〇〇ド

▼試験場で実習している新しい研修グループ(若い人約二〇名)が結成されたが、日農協へ入会したい旨要請があり、賛助会員として承認。これから先、機関誌づくり(スペイン語で実験の結果の報告とか、本からの抜粋、協議会の動きなど)をまかせたい、という発言もあった。

なお、理事会に先立って、五十嵐一哲ボランテア青年が三年の契約を終って帰国す

るところから、送別アサヒト会が午後二時過ぎからひらかれたが、理事、会員有志に試験場長、職員らが参加した。

五十嵐氏は一旦帰国し、四月間また戻り、氣に入らなかつたが、生活、花づくりにほめてくれる。

### F1の槍舞台に

#### 亜国から17年振りに登場

#### 若冠19才のトウエロ

オーストラリアのメルボルンで去る八日、本年初のF1(フォーミュラワン)の自動車レースが行われ、アルゼンチンから十七年振りにエストバノ、トウエロが参加、初出場ながら十五位に食い込んだ。優勝したのはフィンランド出身のミカハッキネン(マクラーレン・フォーミュラワン)。

偉大なレーサー、J.M. フォンセカを生んだアルゼンチンだけに、各種目自動車レースは盛んだが、C.レカニア(現上院議員)を最後に、F1で走るレーサーを欠いていた。

トウエロは十九才で、本年度最年少のレーサー(史上三番目)。所属するのはイタリ

アのミナルティ・フォードで優勝候補のマクラーレン、ウィリアムズ、ベネトンに比較してマイナー(下位)チームとされている。仲間の中野信治(二十六才)はずでに昨年、十七回フルに走っている。そのほか日本人として高木虎之助(ティエル・フォーミュラワン)がやはり初参加した。

エストバノ君は、年とってからレーサーになった父の影響を受け、十二才からライセンスが取得できる一〇〇ccの小さいカートのレースで走りはじめ、連続して優勝。その後、F1の登竜門といわれているヨーロッパのF3に参加、十六才で優勝。昨年は日本との顔ぶれのため、F3クラスのフォーミュラ・ニッポンに何回か出場した。トウエロは初出場の緊張感から、スタートの際、信号よりも一瞬早くクラッチを放し、急いでブレーキを踏むた

報知 1118 [4]  
No. 6575 [4]

### 祖国の経済危機で

#### 日本 韓国 コロニアが救済運動

昨年十一月のウオン(韓国の通貨)暴落に端を発した通貨危機で、南米の韓国人も含めて祖国の危急を救うためのキャンペーンが内外でくり広げられた。「国難」を前にするときは一致団結する国民性が発揮されたのである。韓国は外貨準備高は昨年末で八億ドルにまで落ちこみ深刻な対外債務問題を引き起こす原因になったが、年明けがかた、外貨不足克服のため政府と国民が参加するキャンペーンが始まった。まず貴金属の供出運動により、二月上旬までに外貨準備を約七億ドルふやしている。国際通貨基金の支援などで外貨は百五十億ドル近くに達したといわれている

るが、増加の約一割が国民の供出運動で埋められたことになる。

在日韓国人による母国への「送金運動」で、一月末までに約二〇億円が送られ、さらに、強い要望で大蔵省に当たる韓国財政経済院が二月中旬円建て国債発行を決めたが、「愛国的参加」という観点から利回りを通常よりやや高くした「もの」だという。

一方、約五万人いるブラジルの韓国人たちも、「一人百ドル運動」を展開したり、独自のルートで送金した人もかなりの数にのぼったようだ。韓国紙には日本の戦中を思いおこすような、「賢訳は敵」「我々は韓国経済の大活躍の

ための援軍になろう」「昨日も今日も、祖国に起きたことは決して他人事ではない」という広告が掲載された。と「日但毎日新聞」が伝えている。

そこでアルゼンチンではどうだろうか、フロレス地区に社屋をもつ「中央日報社」を訪れてみた。編集長や記者は不在で、事務をとるスタッフが、個人的な見解だがと断った上で、流暢なスペイン語でこたえてくれた。

「ここでは一人一ドル運動。祖国愛がないのでは無いが、義務として押しつけることはできないので、もちろん個人的に百ドル出した人もいますし、八〇ドル持参して駆けつけた少年もいた。母国の事情をよく知らない子供たちに教育する、よい機会にもなつたようです。韓国からの移住は一九八〇年、一九九〇年

が、増える。アルゼンチンで、いまは約三万人。現在は途絶えている。新聞二紙、週刊誌三誌があり、我々の場合、週に五回発行。同じアジア系として、日系社会も終戦後、窮乏の日本へララ物資として、あるいは個人的にも食品、衣服類を送りつづけたことがある。

平成10年3月17日(火曜日)

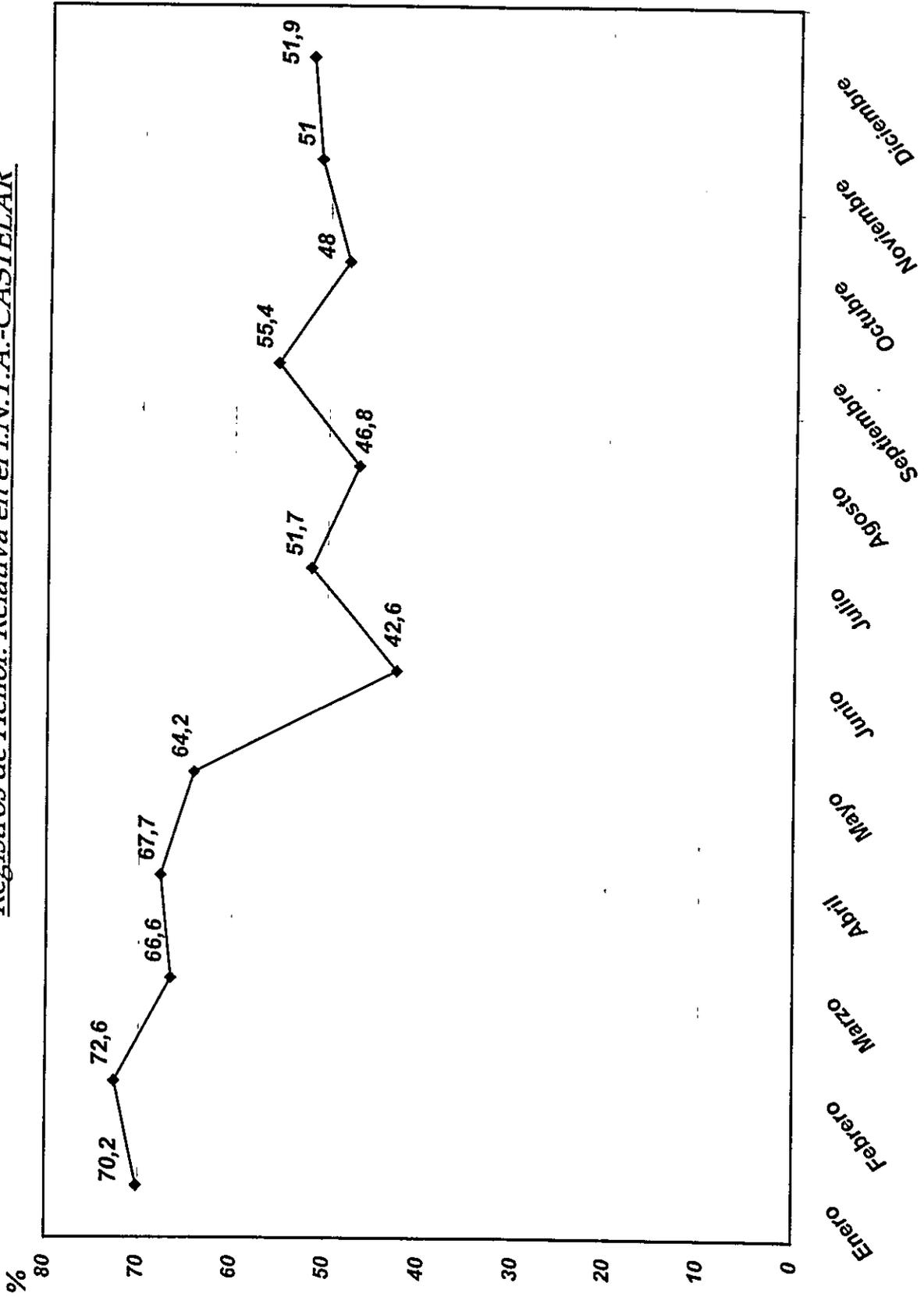
1997  
Registros Climáticos I.N.T.A.-CASTELAR

Mes	Semana	Helióf. Relat	Temp. Max	Temp. Min.	Media	Humedad	Lluvias (mm.)	viento
Enero	1	65	30,9	19,2	25	56,7	55	6,8
	2	72,9	31,6	21	26,3	63,2	6,7	6,3
	3	72,7	31,8	21,7	26,8	57,9	56,1	7,7
	prom	70,2	31,4	20,6	26	59,3	117,8	6,9
Febrero	1	59,1	27,7	17,1	22,4	62,9	44,4	8,8
	2	77,5	25,5	17,1	22,4	43,3	5	6,9
	3	81,1	29,2	17,6	23,4	60,6	0	7,3
	prom	72,6	27,5	17,3	22,7	55,6	49,4	7,7
Marzo	1	62,4	28,3	17,1	22,7	64,9	1,7	6,6
	2	63,1	26,9	17,6	22,3	64,9	11	7,1
	3	74,4	27,8	14,5	21,1	59,2	0,7	4,5
	prom	66,6	27,7	16,4	22	63	13,4	6,1
Abril	1	70,8	24,9	12,1	18,5	57,5	14,5	5,6
	2	70,2	27,5	16,6	22,1	70,9	41,5	5,2
	3	62,2	22,4	10,5	17	70,2	18	5,7
	prom	67,7	24,9	13,1	19,2	66,2	74	5,5
Mayo	1	80,5	25,2	12,7	18,9	63,8	0	4,2
	2	55,2	23,7	14,5	19,1	78,4	62	5,1
	3	56,9	15	5,2	10,1	70,8	2,3	4,4
	prom	64,2	21,3	10,8	16	71	64,3	4,6
Junio	1	35,7	16,3	9,8	13	77,6	19,2	6,4
	2	25,1	15,5	9,3	12,4	84,2	23,9	6,7
	3	67	13,6	3,9	8,7	65,3	1	5,3
	prom	42,6	15,1	7,7	11,4	75,7	44,1	6,1
Julio	1	45,3	14	5,9	10	69,6	16,4	6,7
	2	68,7	14,4	5	9,7	72,1	10,5	5,4
	3	41,2	21,6	13,3	17,5	73,1	3,6	7,2
	prom	51,7	16,7	8,1	12,4	71,6	31,5	6,4
Agosto	1	49,8	14,1	4,3	9,2	67	2,4	6,3
	2	37,2	19,8	10,1	15,5	77,3	37,1	6,7
	3	53,3	21,6	11,5	16,5	67,7	49,5	7,2
	prom	46,8	18,5	8,6	13,7	70,7	89	6,7
Septiembre	1	43,5	17,7	10,1	13,9	71,2	7,2	6,1
	2	71,8	18	5,6	11,8	57,5	0,7	5,2
	3	50,8	19,9	8,3	14,1	65,7	3,5	4,7
	prom	55,4	18,5	8	13,3	64,8	11,4	5,3
Octubre	1	44,3	20,3	11,2	15,8	70,5	87	6,9
	2	54,3	20,4	11,6	16	73,1	37,5	6,9
	3	45,5	23	13,6	18,3	68,7	17,5	5,9
	prom	48	21,2	12,1	16,7	70,8	142	6,6
Noviembre	1	45,3	23,9	16,2	20	79,6	56,9	7,5
	2	55,3	23,1	13,5	18,3	66,6	23	6,9
	3	52,4	25,1	15	20	67,5	53,6	5,9
	prom	51	24	14,9	19,4	71,2	133,5	6,8
Diciembre	1	68,5	27,3	14,7	21	56,1	35,3	5,9
	2	40,1	25	17,2	21,1	70,5	96,4	7
	3	47	25,5	16,4	20,9	70,5	97,2	6,8
	prom	51,9	25,9	16,1	21	65,7	228,9	6,6

Fuente: Instituto de Clima Y Agua I.N.T.A.-CASTELAR

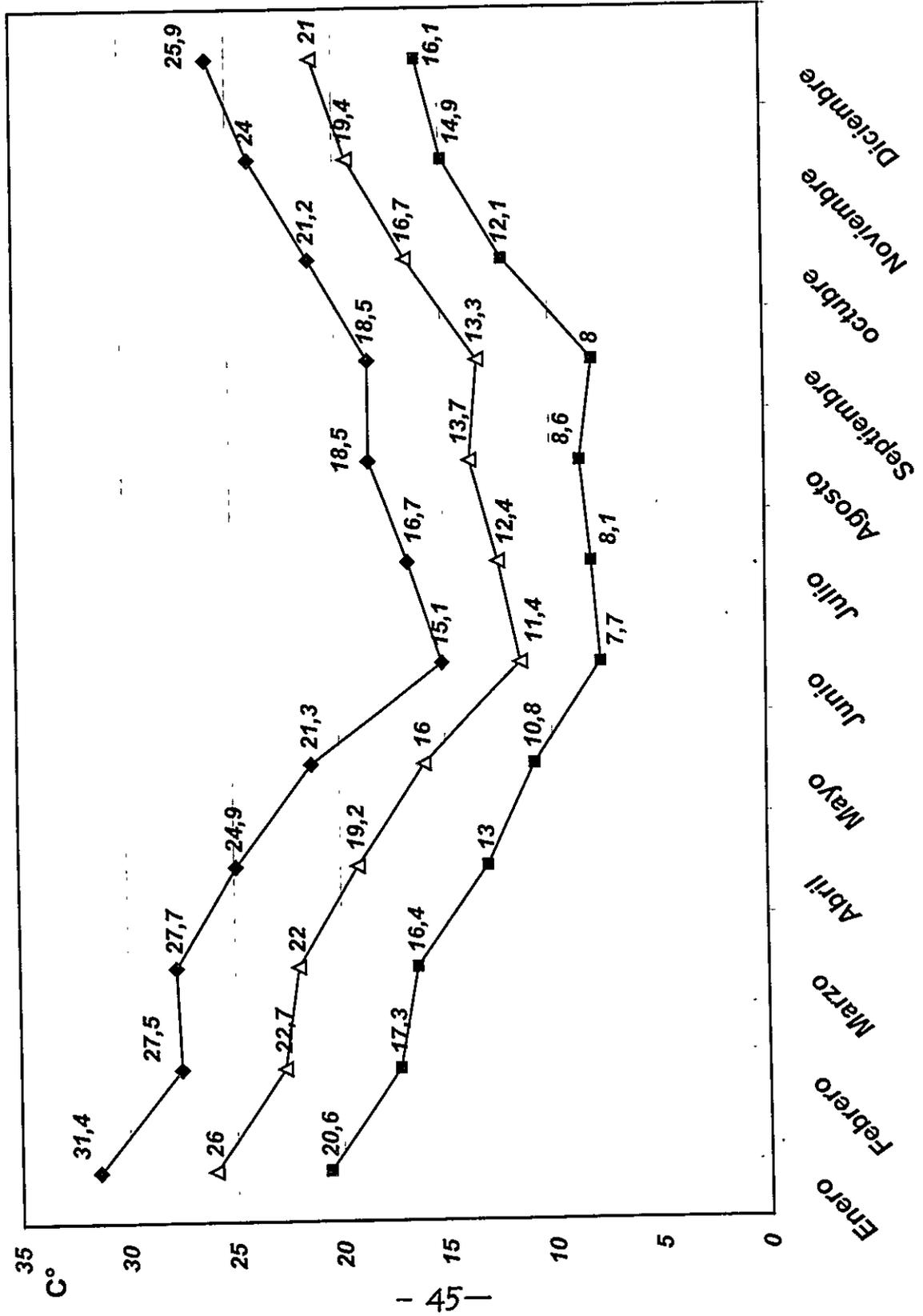
1997

Registros de Heliof. Relativa en el I.N.T.A.-CASTELAR

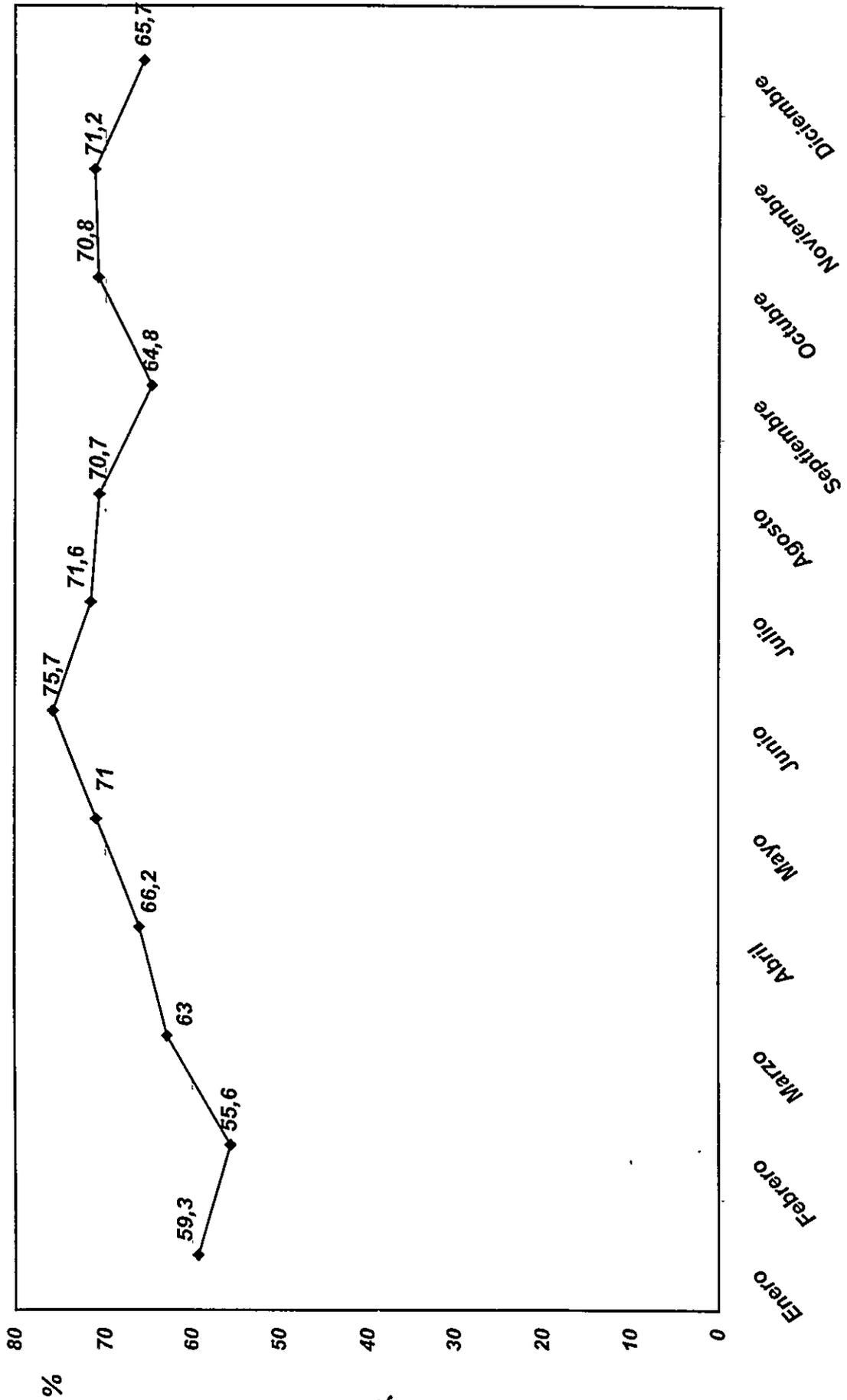


1997

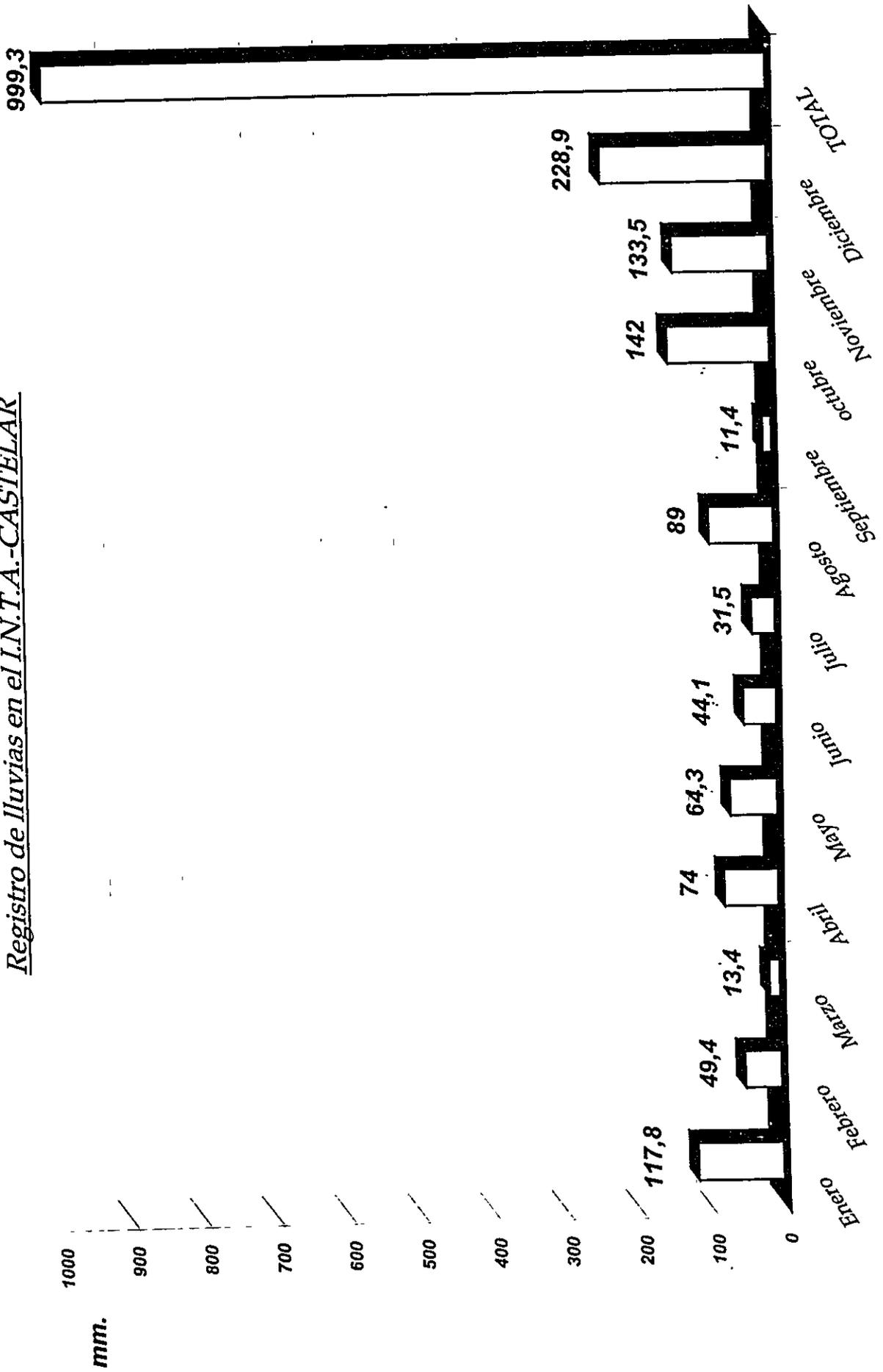
Registros de temperatura en el I.N.I.A.-CASTELAR



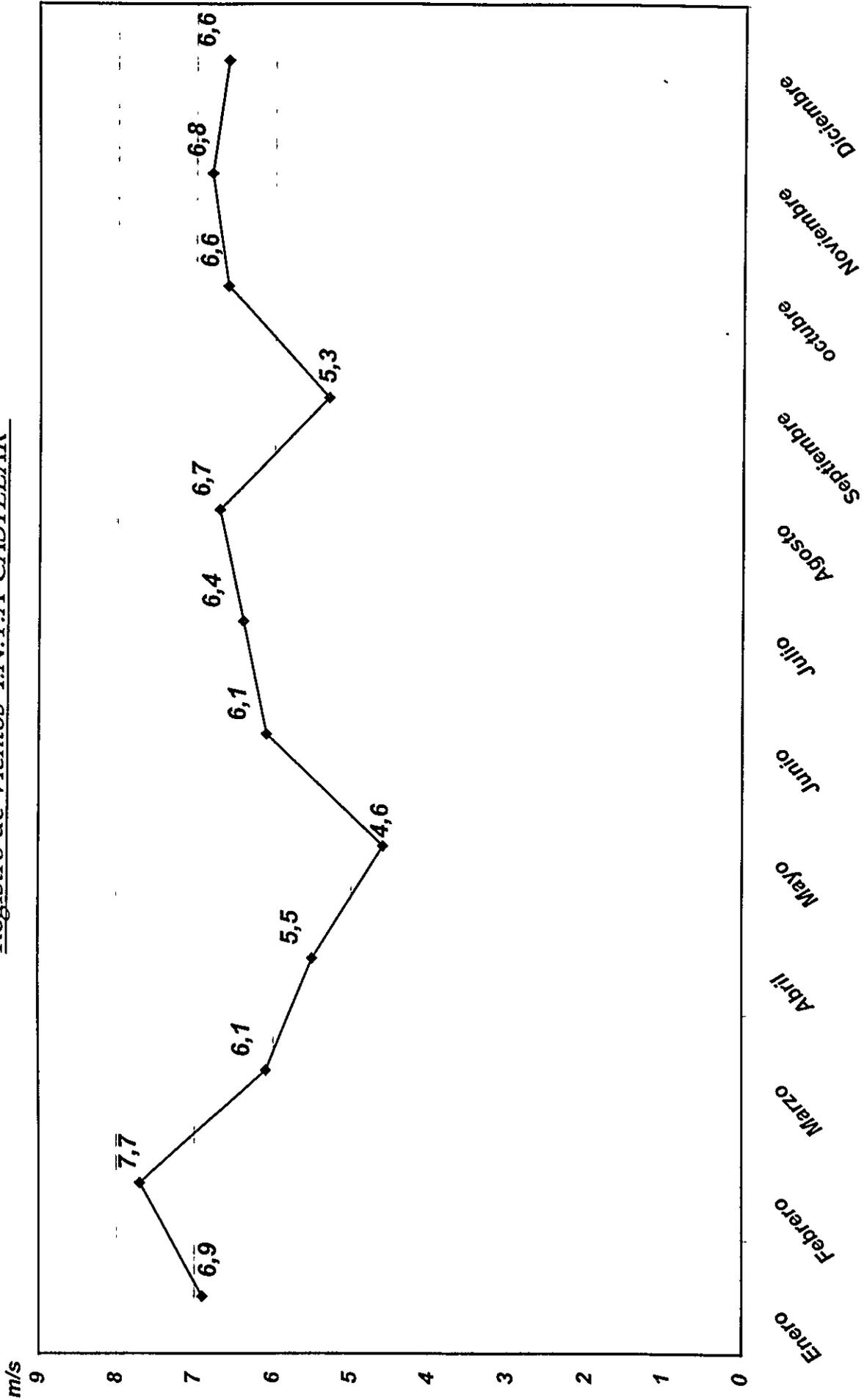
1997  
Registros de Humedad I.N.T.A.-CASTELAR



1997  
Registro de Lluvias en el I.N.T.A.-CASTELAR



1997  
Registro de Vientos I.N.T.A-CASTELAR

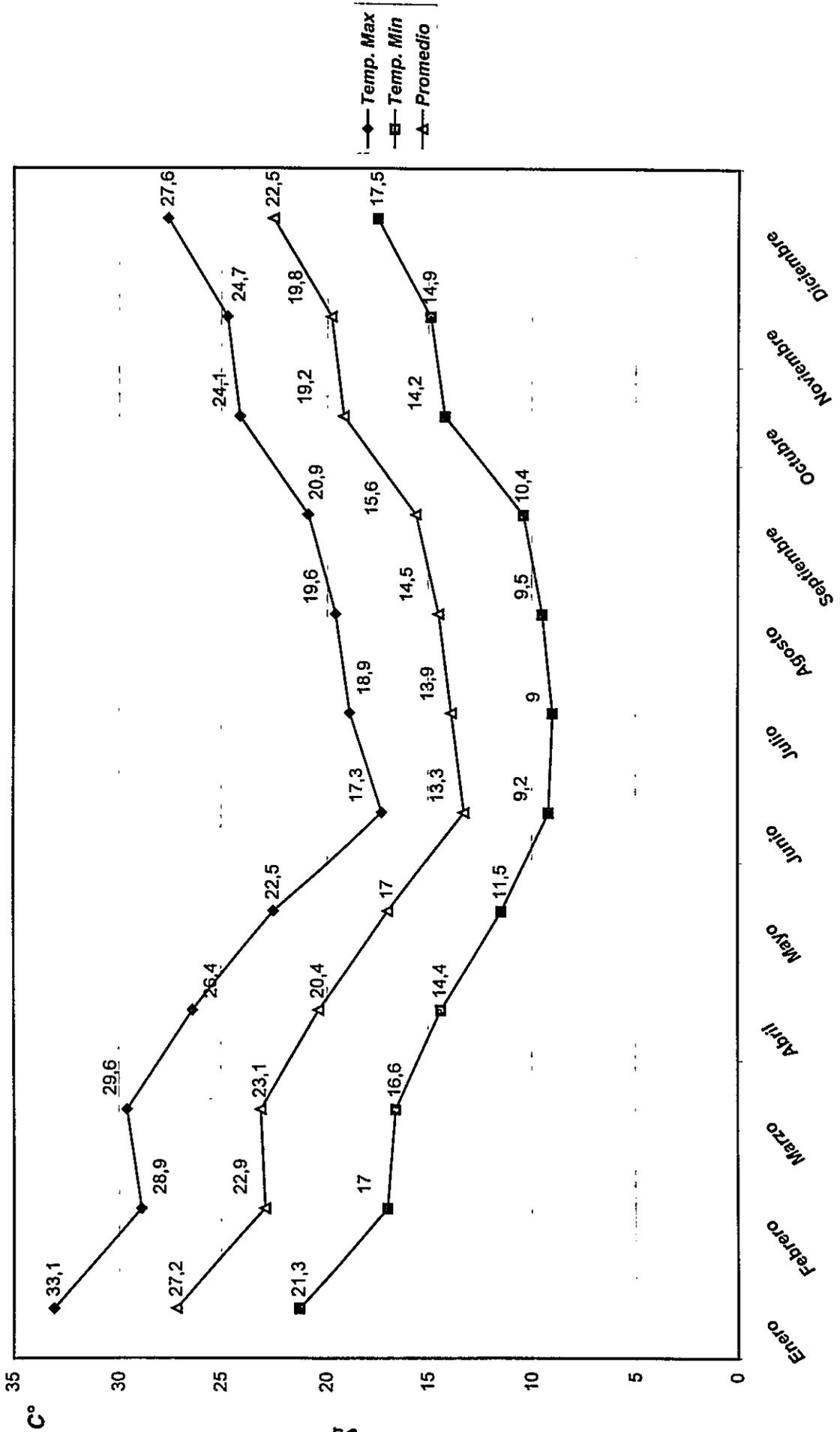


**Registros Climatológicos del Campo frutícola en Baradero, en el período  
Enero-diciembre de 1997**

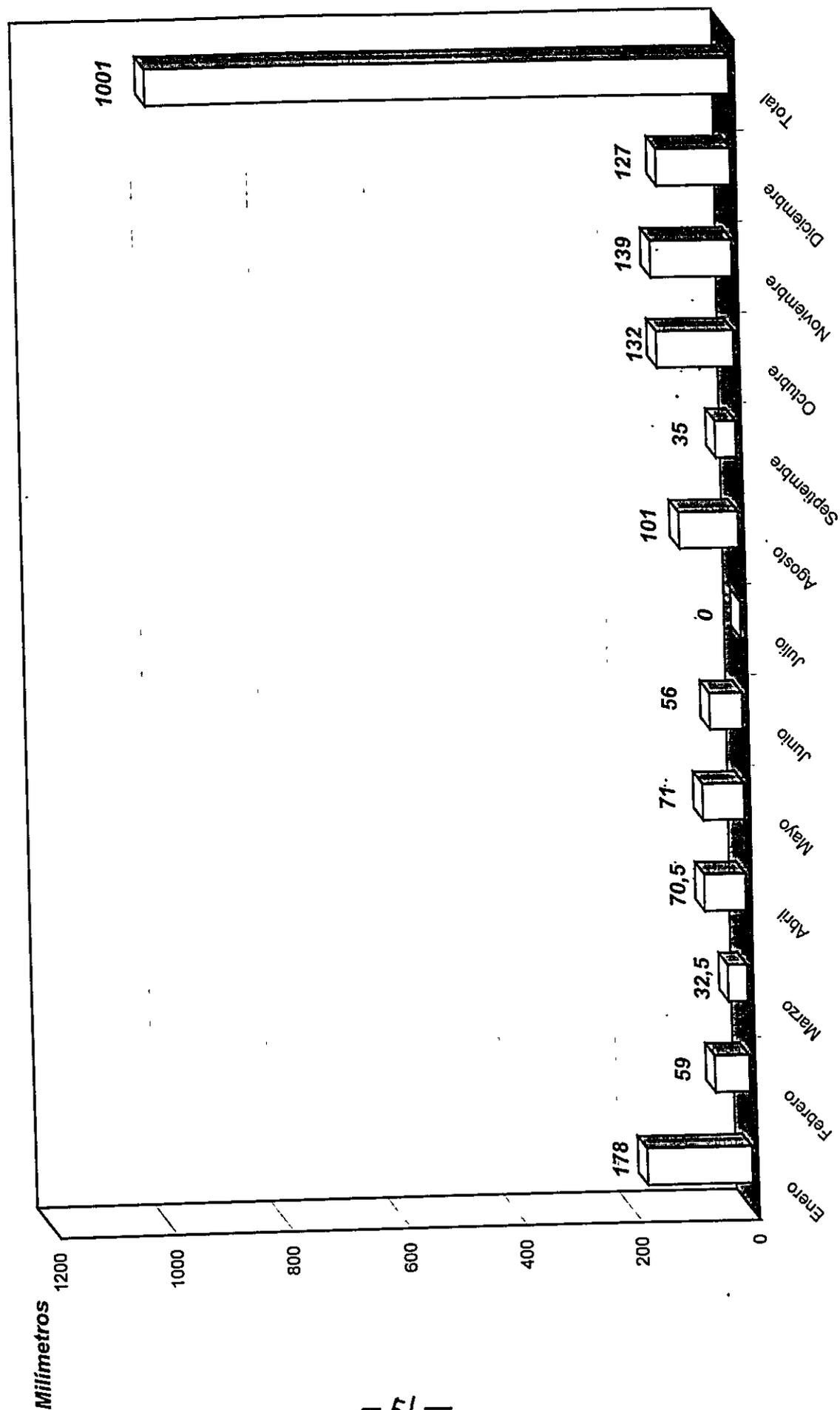
Mes	Semana	Temp. Max	Temp. Min.	Promedio	Lluvias (mm.)	Heladas (días)
Enero	1	32,3	20,3	26,3	47	0
	2	33,4	22	27,7	72	0
	3	33,6	21,7	27,6	59	0
	prom	33,1	21,3	27,2	178	0
Febrero	1	29,2	17,6	23,4	59	0
	2	27,2	16,1	21,6	0	0
	3	30,2	17,2	23,7	0	0
	prom	28,9	17	22,9	59	0
Marzo	1	31,2	16,8	24	0	0
	2	29,3	17,3	23,3	32,5	0
	3	28,3	15,7	22	0	0
	prom	29,6	16,6	23,1	32,5	0
Abril	1	26,3	12,5	19,4	19,5	0
	2	28,3	17,7	23	46	0
	3	24,5	13	18,7	5	0
	prom	26,4	14,4	20,4	70,5	0
Mayo	1	26,2	14,3	20,2	0	0
	2	24,8	14,4	19,6	34	0
	3	16,6	5,7	11,1	37	0
	prom	22,5	11,5	17	71	0
Junio	1	18,3	10,4	14,3	24	0
	2	18,3	11,4	14,8	32	0
	3	16	5,8	10,9	0	6
	prom	17,3	9,2	13,3	56	6
Julio	1	16,8	7,5	12,1	0	5
	2	16,4	6	11,2	0	6
	3	23,4	13,4	18,4	0	2
	prom	18,9	9	13,9	0	13
Agosto	1	16,2	3,9	10	0	4
	2	20,9	12,7	16,8	45	0
	3	21,6	11,9	16,7	56	2
	prom	19,6	9,5	14,5	101	6
Septiembre	1	19,9	12,5	16,2	12	1
	2	20,8	8,4	14,6	15	2
	3	21,9	10,4	16,1	8	0
	prom	20,9	10,4	15,6	35	3
Octubre	1	22,5	13,4	17,9	76	0
	2	24,4	13,9	19,1	49	0
	3	25,5	15,5	20,5	7	0
	prom	24,1	14,2	19,2	132	0
Noviembre	1	22,5	14,3	18,4	30	0
	2	24,1	13,7	18,9	38	0
	3	27,5	16,6	22	71	0
	prom	24,7	14,9	19,8	139	0
Diciembre	1	28	15,7	21,8	14	0
	2	27,9	18,4	23,1	98	0
	3	26,9	18,4	22,6	15	0
	prom	27,6	17,5	22,5	127	0

Fuente: CETEFFHO-JICA

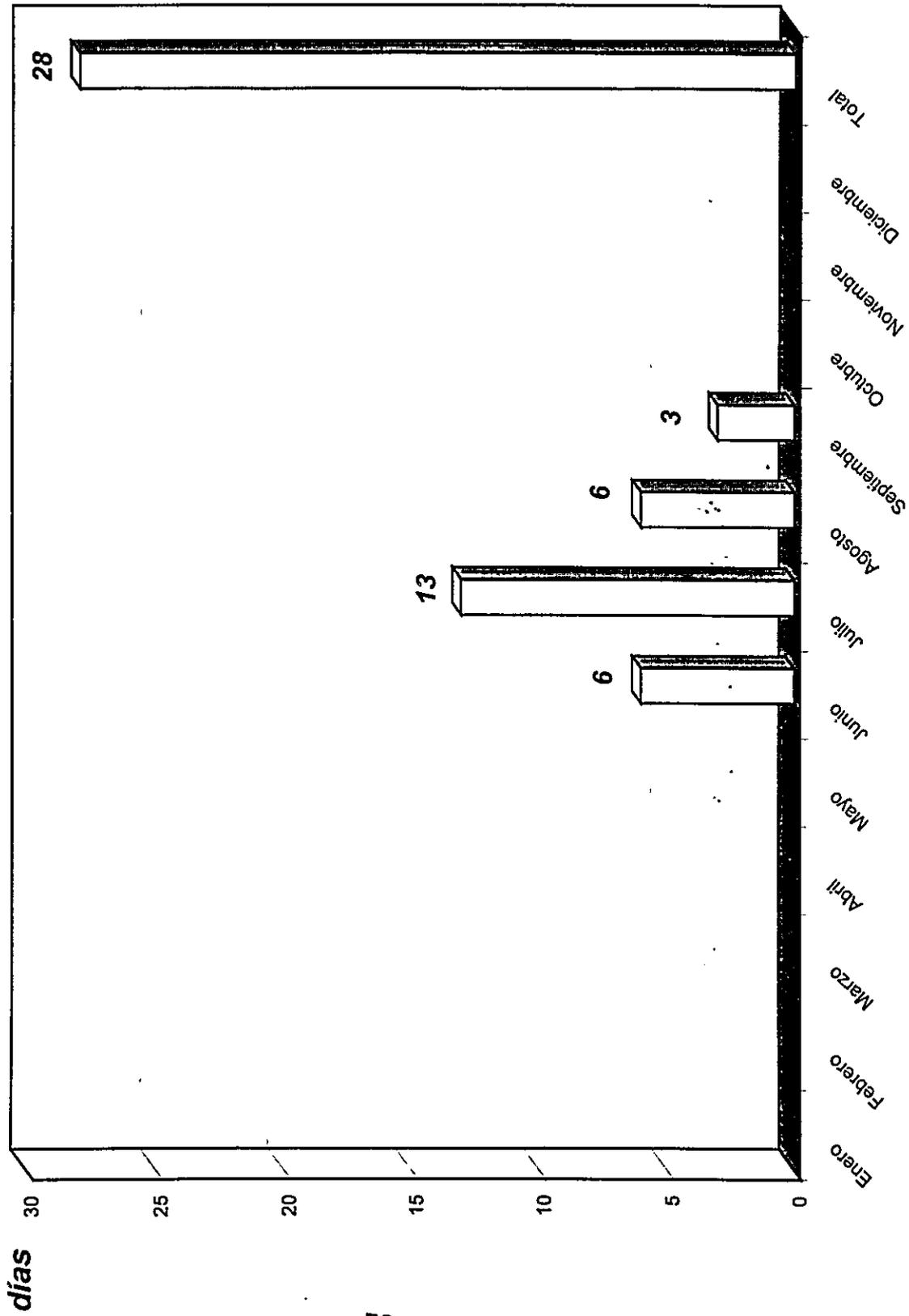
**Registros de temperatura del campo frutícola en Baradero en el período Enero-Diciembre de 1997**



Registro de Lluvias caídas en el campo frutícola en Baradero en el período Enero-Diciembre de 1997

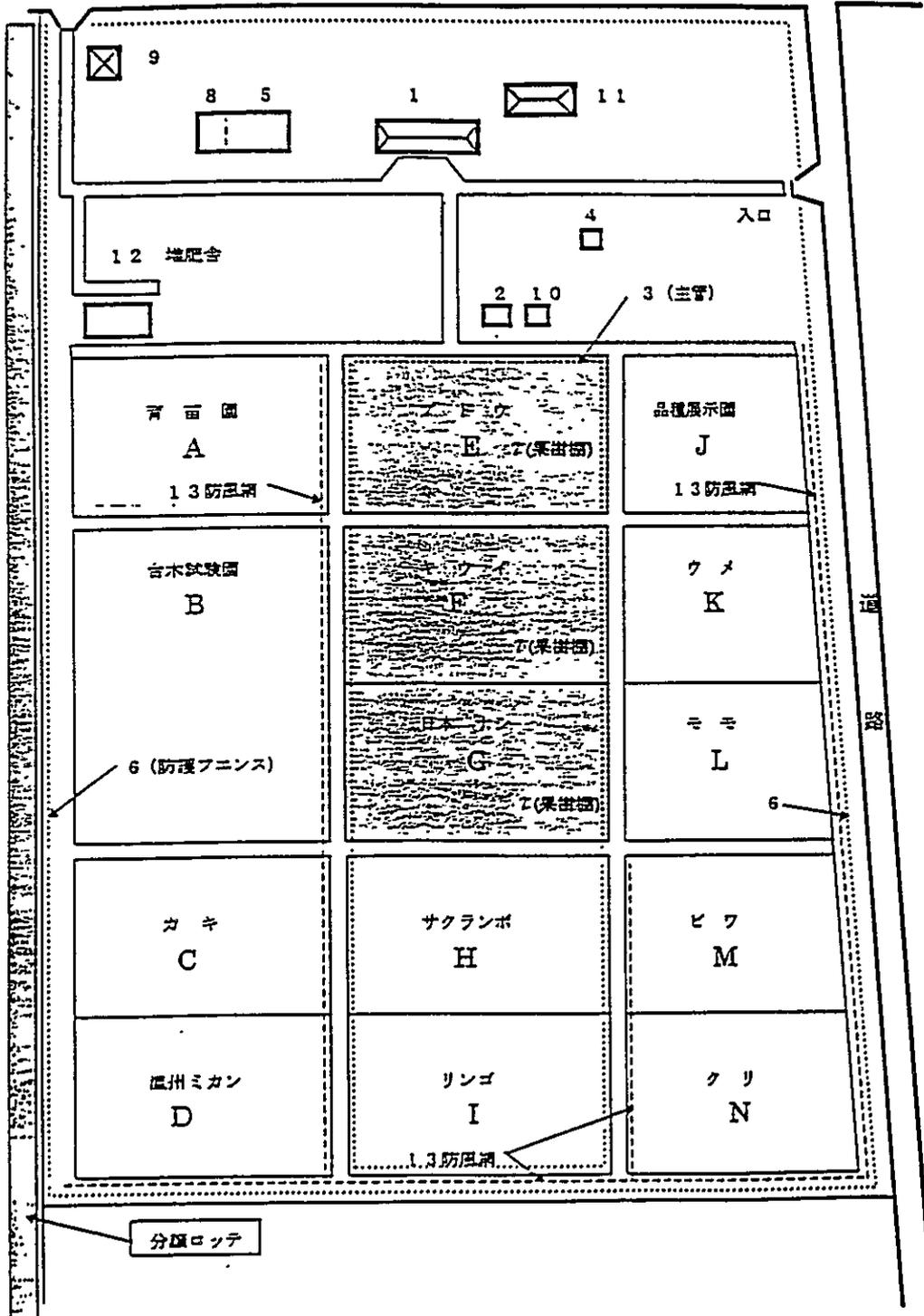


Registro de Heladas caídas en el campo frutícola en Baradero en el período Enero-Diciembre de 1997





バラデーロ果樹試験圃場 (15.00ha)



バラデー口果樹試験圃場図

平成10年3月31日現在

番号	施設	数量	番号	区分	面積(ha)
1	管理人宿舍兼事務所	154 m <sup>2</sup>	A	育苗圃	0.528
2	貯水槽	10,000 lts	B	台木試験圃	0.880
3	灌水施設	2.27 m <sup>2</sup>	C	カキ	0.440
4	百葉箱	--	D	温習ミカン	0.440
5	農機具庫兼作業舎	210 m <sup>2</sup>	E	ブドウ	0.568
6	防護フェンス	1.453 m <sup>2</sup>	F	キウイ	0.473
7	果樹湖	1.514 m <sup>2</sup>	G	日本ナシ	0.473
8	農薬肥料庫	83.64 m <sup>2</sup>	H	サクランボ	0.473
9	人夫宿舍	100 m <sup>2</sup>	I	リンゴ	0.473
10	発電機小屋	36 m <sup>2</sup>	J	品種展示圃	0.422
11	職員専門家宿舍	107 m <sup>2</sup>	K	ウメ	0.371
12	堆肥舎	103.74 m <sup>2</sup>	L	ミモ	0.388
13	防風網	延 2000m	M	ビワ	0.407
			N	クリ	0.429





U  
C  
A

LIBR